

IR University

第 14 回 「資本市場とIR シンポジウム」のご案内 中長期運用投資家に選ばれる IR ~アクティビストに狙われない、個別銘柄発掘相場で勝つ (青山学院大学大学院国際マネジメント研究科 共催)

ご挨拶

平素より皆様には、大変お世話になっております。当シンポジウムは、資本市場で重要と考えるテーマや 話題、課題を取り上げ、毎年、開催しております。

第 14 回となります本年は、改めて「中長期投資家に選ばれる IR」を考える契機としていただきたいとの思いからテーマを設定させていただきました。

東証の PBR 改善要請や日本株市場の相場上昇などを受け、企業の IR ご担当者の皆様においては、投資家とのエンゲージメントの機会や質の向上に一層の工夫を凝らされたり、対面での海外 IR を再開させるなど、「攻め」の姿勢を強める動きが強まっているものと存じます。一方では、アクティビストの動きがますます活発化しており、表面に出てこない水面下での攻防が増加しております。

今回の基調講演は、英国エジンバラにて日本株の中小型ファンドの運用を長らく担当して来られたハーディー智砂子氏にご登壇いただき、自社の企業価値の源泉をいかにして資本市場にアピールし、投資家に選ばれる銘柄になるか、という観点からお話頂きます。

共催となります青山学院大学の伊藤晴祥教授には、投資家に選ばれるためのサステナビリティ開示について、学術的な観点も踏まえてご講演いただきます。加えて弊社から、ご好評をいただいております弊社の著作『アクティビスト対応の実務』より、より実際に即したお話をさせて頂きたく存じます。

恒例の大討論会においては、「株価の上昇と企業価値向上が最大の防衛策である」との観点から IR を推進されるご担当者の方々、ならびにアクティビスト株主を抱える企業や有事の際のリーガルアドバイザーとしてのご経験が豊富な TMI 総合法律事務所の宮下央弁護士にご登壇いただく予定です。

シンポジウム終了後、本年も、会場にて懇親の場を設けることといたしました。議論の続き、皆様のご交流の場としていただけますと幸いです。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

ジェイ・ユーラス・アイアール(株) 取締役会長 岩田宜子

開催趣旨

以下のようなテーマのもと、議論を深めます。

- ・ 個別銘柄発掘相場において投資家に選ばれる銘柄になるためには
- ・ 中長期投資家で占められる株主構成を目指すための IR 活動
- ・ アクティビストに隙を見せない開示 など

開催概要

日 時:2024年12月2日(月)

シンポジウム13 時 30 分 - 17 時 10 分懇 親 会17 時 20 分 - 18 時 00 分

形 式:会場

会 場:新東京ビル4階ラウンジ "The 4th" (東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル)

会場定員:30名(誠に恐縮ですが定員に達し次第、締め切らせていただきます。)

参加費用:

・弊社と現在お取引のある企業・・・無料

・弊社のフラッシュニュース受信企業・・・一人 1,000 円(税別)

・その他企業・・・一人 2,500 円(税別)

お申込み方法

お申込み:申込みボタンをクリックするか、QRコードを読み取ってお申し込みください。

折り返し、詳細のご案内を致します。

締め切り:2024年11月29日(金)まで

問合せ先:ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社

担 当:鈴木・原山・伊牟田 E-mail:ir_university@j-eurusir.com

T E L:03-6273-4032(代)

お申込みはこちら



時間	講演内容	登壇者
13:30~13:35	はじめに	田中 康雅 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
13:35~14:15	基調講演 「投資家に選ばれる銘柄になるために~IRの観点から」	ハーディ智砂子 氏 IR アドバイザー
14:20~15:00	「投資家に選ばれるサステナビリティ開示」	伊藤 晴祥 教授 青山学院大学大学院国際マネジメント 研究科
15:00~15:10	休憩	-
15:10~15:50	『アクティビスト対応の実務』より	原山 真紀 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
16:00~17:00	大討論会 「アクティビストを意識した資本市場との対話」 登壇者 宮下 央氏 (弁護士、TMI 総合法律事務所) 上田 薫氏 (㈱UACJ) 千葉 小夜 氏 (明治ホールディングス㈱)	総合ファシリテーター 岩田 宜子 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
17:00~17:10	おわりに	岩田 宜子
17:20~18:00	懇親会	

<ご参考> 過去5回のIR University 「IRと資本市場シンポジウム」のテーマ

第 13 回 :実践!戦略的 IR 活動~サステナビリティとコーポレートガバナンスの視点で~

第 12 回 :資本市場の評価を得る IR・SR と取締役会とは ~ 日本企業の成長に向けて ~

第 11 回 :まだ間に合う CG 報告書-投資家の評価を得るには

第 10 回 :新しい IRO の役割とは一企業の成長にどう貢献するか

第 9 回 :ESG イニシアティブ争いの中で日本企業が今なすべきことーガバナンス概念の拡張